報道資料

カエデ夢プラン

特定非営利活動法人

宇陀カエデの郷づくり

報道資料

はじめに

宇陀市菟田野地域は市の南部に位置し、気候は概して温和な内陸生の気温で、高原生の山間盆地であるため、夏は比較的過ごしやすい冷涼な気候です。

この地域の経済基盤を支えてきた産業には、農業、林業、鉱山そして地場産業として磨き丸太の銘木があります。しかし、人口の減少や高齢化が進み遊休農地の増加又、経済低迷による林業・銘木・毛皮革産業の深刻な経営不振が問題となっている状況です。一方、観光面では奈良県内の神社の中で数少ない国宝指定を受けている宇太水分神社や平安期中将姫ゆかりの尼寺でもある日張山青蓮寺・四国八十八ヶ所を模した霊場や天然記念物に指定されている八房の杉の巨木等、歴史的にも文化的にも非常に価値のある文化財が多数存在しています。しかし、訪れる人が少ない現状でもあります。

今後、地域の過疎化進行等により農地や森林の荒廃地域になっていくことが心配されますが、ここ菟田野には、先人が大切に育んでこられた自然環境や歴史と伝統や文化遺産があります。又、その恵みを受け未来に向かって生き生きとした高原文化都市をすすめようと平成１７年９月、旧菟田野町時代に約１，２００種と約３，０００本の世界的にも比類ない収集量を誇る、世界のカエデの寄贈を受けました。現在、宇陀市菟田野地域内で宇陀市が植栽管理をしています。この貴重なカエデをもとに新たな文化を育てカエデの郷づくりを進め、この地域の発展と活力ある高原文化のまちづくりを実現するため、地域市民の皆さん（会員数１９１名）により平成２２年１１月ＮＰＯ法人**『宇陀カエデの郷づくり』**を創設しました。

事業目標

私たちのＮＰＯ法人『宇陀カエデの郷づくり』の目標として

① 自然との共生、地域活性のため、市民の活動拠点づくりを目指し努力します。

② 比類なき収集量（全国一）を誇るカエデを地域づくり、環境づくりに生かし、“日本一のカエデの郷”を目指します。

③ 「カエデ文化」の発信・教育・学習・研究・植栽・展示観賞・交流等を行います。また、観光（国宝宇太水分神社とのリンク）・特産物（地場産業品）の地域ブランドづくりに取り組みます。

④ 地域の雇用促進を図ります。

報道資料

カエデ夢プラン

宇陀市では平成１８年３月に廃校となった旧宇太小学校跡地を利用し、（仮称）ワールドメイプルパーク整備事業として平成２１年１１月より工事が進められており平成２５年３月末には完成予定となっています。

私たちＮＰＯ法人は、この（仮称）ワールドメイプルパークをカエデ植物園と位置づけ地域全体で管理し、カエデを守り、地域づくりの資源として活用を図りたいと考えています。

カエデ管理・生産について

① このカエデ植物園は全国唯一の比類なき収集量と稀少類が多いことから、日々管理業務が必要なる５月初から１１月末までの期間、毎朝日照までの時間に十分な散水を行う。病虫害の駆除対策も一本ずつ確認し、発生していればすぐに駆除を行う。又、酸性雨に弱いカエデはハウス内により管理を行う。

常に管理には十分な配慮を行い、３０００本の保全管理を行う。

平成２５年４月からは、本 NPO が管理主体となることから地域市民による管理体制を確立する。

② カエデ増植や新種開発を図る必要があることから冬期、接ぎ木や種まきを行い、ハウス内で育苗する。又、環境保護の観点から温暖化防止の一環として CO2 に強いカエデ新種を大学と提携して研究開発を進める。

③ カエデを観葉植物として、公園や街路樹等に適用できる品種改良を行う。

④ カエデバンクを創設し、特に寺院の境内にあるカエデと同種のものを育苗管理し、枯れ木となった場合にすぐに植え替えできるよう寺院との協力関係を構築する。

⑤ カエデの盆栽や山野草との寄植え鉢をつくり、家庭内でも楽しめる商品開発を行う。

⑥ 日本や世界のカエデ標準木となる植物園とし、現保有している園芸品種のカエデ標本作りを行い、国立大学等へ提供する。

⑦ カエデオーナー制度を確立する。

⑧　地域内の遊休農地を利用し育苗を行い特産品として生産を行う。

情報発信活動について

①　平成２３年中には本 NPO のホームページを開設する予定としており、開園までの間はホームページにより本 NPO の活動や季節ごと艶やかなカエデの色合いを掲載し、ＰＲ活動を行う。

　開園後は新聞やテレビ等のメディアを活用すると共にパンフレットを作成し、交通公社や雑誌等への PR 活動を行う。

　廃校校舎を活用し、隔月毎にテーマを設けてイベントを開催する。

②　隣接する宇太水分神社や樹齢約７００年の杉の巨木、歴史的な家屋、春季には樹齢７０年の桜並木（約５００本）等カエデ園の周辺には観光資源がたくさんあり、合わせて PR 推進を行う。

　又、廃校校舎は過去に NHK の連続ドラマのロケーション場所となったところです。今後もドラマや映画のロケーション場所としも関係会社に紹介し提供していく。

③　市内小中学生を対象にカエデを通して自然の植物環境や植生の学習の場として提供を図り、環境保全の意識の高揚とともに全国唯一のカエデ園の存在をアピールする。

④　品種が多くあるため海外（アメリカ・オランダ・フランス・台湾）からの来日者があり、世界的な交流を通して海外への PR を構築していく。

報道資料

廃校校舎の活用について

旧小学校跡は昭和１３年に建築され、県下では歴史的に数少ない二階建て木造校舎であり、この校舎教室を活用して、収益活動や地域コミュニティの拠点づくりを行う。

① カエデ盆栽・カエデと山野草の寄せ植え商品陳列。
② カエデを題にした食品開発と商品の陳列。
③ カエデ資料室と研究室（大学との提携）の設置
④ 地域では数千種の山野草やサボテンの収集と育成者と協力し、商品販売。
④ 地元農産物（高原野菜）の直売。
⑤ 地域コミュニティホールとして地元サークル（生け花・着付け・茶道・音楽等）に利用推進。
⑥ NPO 事務所と会議室の設置。
⑦この事業を展開して地域の雇用促進を図る。

以上の計画の具体化を図るため、本ＮＰＯ組織では各部会を設置し日々協議をおこなっています。

運　営　計　画について

平成２５年３月までは NPO 会費が収入源となりますが、開園後には宇陀市より受託を受けるためカエデの管理をしていかなければなりません。その管理費用を捻出するには、PR 活動や色々なイベント開催・各種団体の教室を行いうことで集客を図り、カエデの生産販売や教室を活用した物品販売による収益を高め、オーナー会員やカエデバンクの創設を積極的におこなっていきます。

収益が不安定により資金不足に陥りやすいことから寄付金を募ります。

報道資料

特定非営利活動法人　宇陀カエデの郷づくり

平成２３年３月３日奈良県認証
３月４日法人登記

事務所　〒６３３－２２２６

奈良県宇陀市菟田野古市場５１１番地の２

ＴEL　０９０－５２４８－８８３９

FAX　０７４５－８４－４０８９

E－MAIL : info@udakaedenosato. main. jp

HP:http:// udakaedenosato. main. jp